

長浜市森林ディレクション審議会（令和5年度第1回）議事要点録

○日時：令和5年7月5日(水) 9:57～11:34

○場所：長浜市役所1階 多目的ルーム3

○出席者：9名(敬称略)

会 長：滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授：高田豊文

副会長：鳥居木材株式会社代表取締役：鳥居憲治

委 員：長浜市伊香森林組合森林整備課長：小谷茂喜

委 員：滋賀県湖北森林整備事務所林業振興係技師：植村恭子

委 員：小谷丁野町里山づくり委員会会長：中島勘一

委 員：LLP木民代表：東逸平

委 員：山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事：長澤由香里

委 員：滋賀県猟友会長浜支部長：内海來

委 員：公募市民：大塚修

○欠席者：1名(敬称略)

委 員：公募市民：隅田あおい

○市(事務局)：6名

産業観光部管理監 兼 北部産業振興課長：中田重樹

森林田園整備課課長：古儀祐一、課長代理：堤 昭彦

課長代理 兼 林業振興係長：横田茂隆

副参事：主馬央統、主査：伊藤真一

○内容

1. 開会

2. 議事

(1) 長浜市森林ディレクション審議会規則の一部改正について

(事務局)

⇒今年度の組織変更に伴い、審議会の庶務を農林政策課から森林田園整備課が行う

ことについて、審議会規則の第8条中の課の名称の変更について改正するもの

(委員)

⇒質疑なし

(2) 本年度の審議内容について

(事務局)

⇒1. 長浜市森づくり計画掲載事業の令和4年度取組内容について

2. 長浜市森づくり計画の改定について

2. については、国の「森林・林業基本計画」「全国森林計画」が変更される場合、
県計画の「湖北地域森林計画」が改訂されるため、本市の計画についても、国及び
県の上位計画との整合性をとるための改定を行うことを説明。なお、改定が見込ま

れない場合には、本市計画に掲載されている事業の視察や研修を行う旨を説明。

(委員)

⇒質疑なし

(3) 長浜市森づくり計画掲載事業の令和4年度進捗状況について

(事務局)

⇒令和4年度の施策進捗状況について説明。6つの基本施策の達成率評価をまとめた。

【 評価報告：基本施策（1） 森林の大切さの啓発と魅力の発信 】

(委員)

・参加者にアンケートはとっているのか？ 満足度等はどうか？

(事務局)

⇒ながはま森林マッチングセンター事業についてはアンケートを実施している。

リピーターや遠方からの参加者もあり、概ね満足との評価をいただいている。

(委員)

・市民の方の評価が多いのであれば、指標を上げてもいいのではないか。

・指標の目標値が一定で、指標が合うのであれば、少し伸ばしてもいいのではないか。

・昨年度は植樹祭があったのでイベントの開催数は多く、昨年度と一昨年度では実績も高いと思うが、本年度以降植樹祭は滋賀県ではないので、減る懸念とかあるか？

(事務局)

⇒減る懸念はあるものの、MC等様々な媒体を通じて周知しており、減らすことなく実施していきたい。

【 評価報告：基本施策（2） 市民の協働による森林づくり 】

(委員)

・「生活環境の緑づくり事業」で苗木を配布した。と記載があるが、適当でないのではないか

(事務局)

⇒記載が適当ではないとのことであれば見直す。

(委員)

・令和5年度は実施予定とあるが、里親制度で苗木を育て植樹されるのか？

(事務局)

⇒令和3年度で苗木の配布事業を実施されており、その苗木を活用し令和5年度の植樹イベントの開催を予定している。

(委員)

・県内の事例で、企業から問い合わせがあるが、希望条件に合致しないというのはもったいないと考える。企業への条件が合致するよう協定締結まで努力してもらいたい。

【 評価報告：基本施策（3） 次代の森林を支える人づくり 】

（委員）

・自伐型林業推進事業の内、講習会の開催実績は3回とある。マッチングセンター（以下「MC」）ほかとあるが「ほか」とは何か？

（事務局）

⇒MC では2本の委託事業を実施しており、森林マッチング推進業務委託とは別の事業でも講習を実施している。この3回とは全てMCの企画開催によるもの。

（委員）

・指標の5回は、委託業務の中で、MCに仕様で位置づけを定めている回数ではないのか？

（事務局）

⇒指標の5回とは指標の11番と12番の事業を一つとして森カツ事業として捉えており、回数を定めている。

令和4年度は、林業のすそ野を広げる講習や特用林産物の育成講座の比重が大きかったため、自伐型林業としてみると3回で目標数値を下回っている状況。11番と12番の実績数値は重複しておらず独立している。

林業に関わりたいという入り口の部分と、そこから育てるという部分の二つの構成になっており、令和4年度は入り口の部分を手厚く取り組んだもの。

（委員）

・労災関係のことで把握はしているのか？

（事務局）

⇒把握している資料はない。何か聞いているような労災はない。

（委員）

・講習等しているが、林業は厳しい状況、人手不足等もある。状況のある程度把握してから実施する方が良い。

（委員）

・やまのこ事業について、県外から小学校とか団体からの問い合わせはあるか？

・体験学習を県外からしたいということで聞いてはないか？

（事務局）

⇒県外から問い合わせがあると聞いたことはない。

（委員）

・県事業の制度として、外部受け入れが可能であるかわからないが、県外からそういう受け入れをしてもいいと思う。

・コロナが減ってから、いくつかの事業が拡大傾向にある。来年度以降も頑張っていたきたい。

【 評価報告：基本施策（４） 森林資源の利用拡大 】

（委員）

・木造住宅の建築、市産材を活用した木造住宅の推進で、まだまだ情報が行きわたっていないのではと感じている。

・推進に努力されている製材業者や、加工業者を支援するような助成、施策があると良い。取り組み自体はA評価で良いが、令和6年度に向けて新たな施策を検討してほしい。

（委員）

市産材の活用機会が、今後の計画でないのであれば、指標や対策を見直す等、何か考えていることはあるか？

（事務局）

⇒計画の見直し時期に合わせ、指標を見直す等の検討はしていきたい。

（委員）

・木質バイオマス活用で、320t出荷できるような能力があるのか？

（事務局）

⇒需要が伸びないために数値の方が低迷している、浅井ウッドステーションに確認すると、目標値をまかなえる生産能力はあると聞いている。

【 評価報告：基本施策（５） 効率的な木材生産 】

（委員）

・施業集約化の説明会を実施しているのが30集落としているが、どれくらい施業に結びついているか把握しているのか。

（委員）

・地区数は？

（事務局）

⇒補助金ベースで14集落。

（委員）

・14集落しかできていないというのは何か理由はあるのか？

（委員）

・森林組合として、とりまとめに時間がかかる。境界確認、不在村の方と連絡対応等、集落に出向いてからその後の作業に繋げていくことに対し困難を極めている。

市の方からのバックアップがあり、進んできているが、働く人の数もある。

県内ではアカデミーという研修先があり、人の養成を図っているため、出来るだけたくさん出来るよう考えたい。しかし、集約化以外にも主伐再生林という話も出てきている。集約地をまとめていくということ、また制度も変わっていくので熟知していないといけない。組合職員も少なくマンパワーも足りていない状況となっている。

（委員）

・民間団体の力を借りてでも長浜市の森林を良くしていくことは必要なことだと思う

ため、長浜市としても、そういった事業体を新たに検討してもらえればと思う。

(事務局)

⇒説明会実施件数というのは滋賀北部で3回、長浜市伊香森林組合で3回、合計6回となっていて、そのうち市が同席は、6回中5回が令和4年度の実績。1回減は地元の意向でコロナ対策として取りやめている。

年間30団地というのは、評価指標に掲げる集約化施業団地数のことで、森林経営計画の5カ年計画が今、有効期間中であるものをとらえている。

団地数の捉え方は、5カ年の有効期間中であれば、新たに施業の同意を取り付けて、計画変更すれば施業に当たれることもあり、計画の有効数を目標値としている。

委員からも森林所有者の特定というのが難しいところで、新たな同意取り付けが難航するということがあるとの意見があるが、今年度から地域林政アドバイザーを森林境界明確化を進めるため人員を一人配置し、不在村者の特定を進め、森林所有者の特定と同意取り付けが円滑に進むよう取り組んでいる。

(委員)

・集約化が進めば、素材生産量は増えていくと思う。今はどこかにボトルネックがあると思うので、解消してもらいたい。

【 評価報告：基本施策（6） 環境に配慮した多様な森林づくり 】

(委員)

・実績値が昨年度から大幅に増えているが、何かあったか？

(事務局)

⇒保育間伐の部分で増えているかと思う。森林組合の要望等も含め検討したい。

(委員)

・面積が大きく増えているのは、造林公社の林分を施業されて面積が増えたもの。令和5年度以降は通年くらいになるのかと思う。

(委員)

・里山防災の項目が廃止ということだが、今後は？

(事務局)

⇒緩衝帯整備事業として実施してきた。次年度も要望があり、緩衝帯整備事業として取り組んでいきたいと考えている。

(委員)

・松林健全化促進事業について、松林はないのか？

(事務局)

⇒松はあるが被害対象としての要望等がない状況、今後要望があれば新たな指定や予算化について検討していく。

(委員)

・最近のヤマビルとダニが非常に多くなっている。県猟友会の会員にダニの被害が出ている。やまのこ等、十分に注意してもらいたい。森林組合では何か良い対策をしているか？

(委員)

・森林組合の対策としては、ハッカ等や売っているもので対応している程度。県を通じて注意喚起もあるので、対策はしている。

(委員)

・このような現場の情報も逐一捉えてもらい、市民の方にも気を付けてもらうよう周知願いたいただきたい。

3. その他

(事務局)

連絡事項

- ・ 次回の開催日は、改めて内容や日時を調整して案内する。
- ・ 意見・提案シートに記入いただいた意見は、共有する。

4. 閉会